

令和 5 年第 6 回野辺地町議会

定例会会議録

招 集 年 月 日 令和 5 年 9 月 7 日（木）

招 集 場 所 野辺地町議会会議場

開会（開議） 令和 5 年 9 月 1 1 日（月）午前 9 時 3 0 分

出席議員（12 名）

1 番	横 浜 睦 成	2 番	高 沢 陽 子
3 番	木 戸 忠 勝	4 番	村 中 玲 子
5 番	五十嵐 勝 弘	6 番	戸 澤 栄
7 番	古 林 輝 信	8 番	中 谷 謙 一
9 番	野 坂 充	10 番	大 湊 敏 行
11 番	赤 垣 義 憲	12 番	岡 山 義 廣

欠席議員（なし）

地方自治法第 1 2 1 条の規定により説明のため出席した者の職・氏名

町	長	野 村 秀 雄
副 町	長	江 刺 家 和 夫
教 育	長	新 渡 幹 夫
総 務 課	長	山 田 勇 一
企 画 財 政 課	長	秋 島 祐 成
防 災 管 財 課	長	西 舘 峰 夫
産 業 振 興 課	長	長 根 一 彦
税 務 課	長	高 山 幸 人
町 民 課	長	上 野 義 孝
介 護 ・ 福 祉 課	長	飯 田 貴 子

健康づくり課長	木 明 修
建設水道課長	瀧 澤 誠
会計管理者	小 野 早 苗
学校教育課長 兼学校給食共同調理場所長	富 吉 卓 弥
学校教育課指導室長	向 中 野 純 子
社会教育・スポーツ課長兼中央公民館長 兼図書館長兼歴史民俗資料館長	五 十 嵐 洋 介
代表監査委員	蛭 名 進 一
総務課長補佐	田 中 利 実
総務課行政担当	二 木 文 弥

本会議に職務のため出席した者の職・氏名

議会事務局長	玉 山 順 一
議会事務局主幹	濱 中 太 一

議事日程（第3号）

日程第1 議案審議

- 1、議案第46号 令和4年度野辺地町一般会計歳入歳出決算の認定を求めるの件

町長の提出議案 な し

議会の提出議案 な し

会議に付した議案

議案第46号 令和4年度野辺地町一般会計歳入歳出決算の認定を求めるの件

◎開議の宣告

○議長（岡山義廣君）　これから本日の会議を開きます。

（午前　９時２９分）

◎答弁の補足について

○議長（岡山義廣君）　９月８日の中谷議員の一般質問の再質問に対する回答に補足説明したいとの申出がありました。説明させます。

産業振興課長、どうぞ。

○産業振興課長（長根一彦君）　おはようございます。９月８日の一般質問、中谷議員からの再質問におきまして、祇園まつりの質問をいただきました。内容としては、祇園まつり期間、新町の株式会社マエダ様が所有する土地の使用に関わることです。

このご質問に対しまして、借用しているということで回答をさせていただきました。８日の議会散会后、借用は土地の一部ではないかというお話をいただきまして、観光協会に確認したところ、八幡宮側の一部を自転車置場として借用していたという回答をいただきましたので、このことを説明申し上げ、中谷議員への回答とさせていただきます。

なお、今年の利用状況など鑑みまして、来年につきましては広く借りるような方向で今検討、マエダ様と協議していくこととしておりますので、ご理解のほうよろしく申し上げます。

以上です。

◎議案審議

○議長（岡山義廣君）　日程第１、議案審議を行います。

議案第46号　令和４年度野辺地町一般会計歳入歳出決算の認定を求めるの件を議題といたします。

会計管理者から決算概要及び歳入１款町税から13款使用料及び手数料までの説明を求めます。

はい、どうぞ。

○会計管理者（小野早苗君）　おはようございます。それでは、議案第46号　令和４年度野辺地町一般会計歳入歳出決算の認定を求めるの件について、お手元の別冊決算書でその概要をご説明申し上げます。

初めに、決算規模について申し上げます。決算書204ページをお開き願います。実質収支に関する調書ですが、調書は100円以下を調整し、千円単位で表示しております。歳入総額決算額は76億6,363万4,611円、歳出総額決算額は74億8,710万8,688円となり、歳入歳出差引き１億7,652万5,923円

の歳計剰余金が生じました。この額から翌年度へ繰り越すべき財源 6 万 3,000 円を差し引いた 1 億 7,646 万 2,923 円が実質収支額となり、黒字として令和 5 年度一般会計の歳入に組み入れられました。

以上の決算額を前年度に比較すると、歳入においては 1 億 5,657 万 179 円、率にして 2 % の減、歳出においては 6,987 万 2,794 円、率にして 0.94 % の増であります。

次に、一般会計の歳入についてご説明申し上げます。64、65 ページ下段をお願いします。歳入予算現額 79 億 4,577 万 8,000 円に対し、調定額は 77 億 1,196 万 9,256 円、収入済額は 76 億 6,363 万 4,611 円で、不納欠損額は 306 万 9,682 円、収入未済額は 4,526 万 4,963 円となりました。予算現額に対する収入率は 96.45 % となり、前年度に比較すると 1.53 ポイント減少しております。また、調定額に対する収入率は 99.37 % となり、前年度と同率となりました。

それでは、収入済額について、前年度との比較及びその主な増減内容を申し上げます。24、25 ページをお願いします。1 款町税は 13 億 737 万 2,964 円で、前年度に比較すると 1,877 万 7,066 円、率にして 1.42 % 減少しております。これは、主に 4 項町たばこ税で 1,102 万 2,517 円の増となった一方、1 項 2 目法人町民税で 2,555 万 6,300 円の減及び 2 項 1 目固定資産税滞納繰越分で 1,104 万 5,288 円の減となったことによるものであります。また、町税の不納欠損額は、町民税、固定資産税、軽自動車税合わせて 284 万 9,802 円で、前年度に比較すると 35 万 3,697 円減少し、収入未済額は 2,951 万 4,423 円で、前年度に比較すると 149 万 8,657 円増加しております。なお、歳入全体に占める町税の割合は 17.06 % で、前年度に比較すると 0.1 ポイント増加しております。

26、27 ページ下段をお願いします。2 款地方譲与税は 5,852 万 4,000 円で、前年度に比較すると 220 万円、率にして 3.91 % 増加しております。これは、主に 3 項森林環境譲与税の増によるものであります。

28、29 ページ中段をお願いします。3 款利子割交付金は 54 万 8,000 円で、前年度に比較すると 28 万 2,000 円、率にして 33.98 % 減少しております。

4 款配当割交付金は 308 万 2,000 円で、前年度に比較すると 68 万 1,000 円、率にして 18.1 % 減少しております。

5 款株式等譲渡所得割交付金は 205 万 4,000 円で、前年度に比較すると 145 万 2,000 円、率にして 41.41 % 減少しております。

6 款法人事業税交付金は 2,088 万 1,000 円で、前年度に比較すると 316 万 6,000 円、率にして 13.17 % 減少しております。

30、31 ページをお願いします。7 款地方消費税交付金は 3 億 585 万 7,000 円で、前年度に比較すると 145 万 2,000 円、率にして 0.48 % 増加しております。

8 款環境性能割交付金は 416 万 7,625 円で、前年度に比較すると 46 万 1,625 円、率にして 12.46 % 増加しております。

9 款地方特例交付金は314万2,000円で、前年度に比較すると1,009万円、率にして76.25%減少しております。これは、主に前年度に交付された新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補てん特別交付金の皆減によるものであります。

10款地方交付税は27億6,074万9,000円で、前年度に比較すると617万4,000円、率にして0.22%減少しております。普通交付税が2,286万8,000円の減、特別交付税が1,669万4,000円の増となりました。なお、歳入全体に占める地方交付税の割合は36.02%で、前年度に比較すると0.64ポイント増加しております。

11款交通安全対策特別交付金は78万円で、前年度に比較すると26万円、率にして25%減少しております。

32、33ページをお願いします。12款分担金及び負担金は5,891万4,856円で、前年度に比較すると14万3,304円、率にして0.24%減少しております。1 項 2 目農林水産業費分担金で、野辺地漁港荷さばき施設改築事業に係る受益者分担金224万4,000円の皆増、2 項 3 目教育費負担金で259万4,330円の減となりました。

34、35ページをお願いします。13款使用料及び手数料は5,150万1,601円で、前年度に比較すると45万1,065円、率にして0.88%増加しております。

以上、1 款町税から13款使用料及び手数料までの収入済額の概要についてご説明申し上げました。ご審議のほどよろしく願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 決算書24ページの1 款町税から41ページの13款使用料及び手数料までの質疑を行います。質疑のある方は、ページ数を言ってから質疑をしてください。ございませんか。

11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 28ページ、29ページ、利子割交付金、それから株式等譲渡所得割交付金、予算額よりも相当収入済額が少ないのですけれども、この説明をお願いしたいと思います。

○議長（岡山義廣君） 財政課長。

○企画財政課長（秋島祐成君） それでは、お答えいたします。

3 款の利子割交付金から5 款の株式等譲渡所得割交付金が予算より少ないのはなぜかということでございますが、予算の段階では国が示した伸び率を参考に予算計上してございます。実際の決算額というのは、実際の税収に伴って一定の基準で交付されるものですから、その見込みとの乖離だったと考えてございます。

○議長（岡山義廣君） ほかにございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 1 款町税から13款使用料及び手数料までの質疑を終わります。

次に、14款国庫支出金から21款町債まで会計管理者から説明を求めます。

はい、どうぞ。

○会計管理者（小野早苗君） 引き続き歳入についてご説明申し上げます。

決算書40、41ページをお願いします。14款国庫支出金は11億1,862万9,168円で、前年度に比較して3億2,967万3,057円、率にして22.76%減少しております。これは、主に次の42、43ページになりますが、2項国庫補助金、2目民生費国庫補助金の子育て世帯への臨時特別給付金事業費及び事務費で1億4,444万円の減、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業費及び事務費で1億4,651万440円の減となったことによるものです。

なお、歳入全体に占める国庫支出金の割合は14.6%で、前年度に比較すると3.92ポイント減少しております。

44、45ページ下段をお願いします。15款県支出金は8億9,928万65円で、前年度に比較して8,592万7,173円、率にして10.56%増加しております。1項県負担金が減となった一方、2項県補助金及び3項県委託金が増となりました。

46、47ページをお願いします。2項県補助金は、1目総務費県補助金で新型コロナウイルス感染症市町村総合対策事業費4,500万円の皆増、次の48、49ページになりますが、2目民生費県補助金で生活困窮者に対する原油価格・物価高騰対策事業費682万2,000円の皆増、県子育て世帯臨時特別給付金事業費及び事務費3,461万円の皆増などにより、9,215万2,858円の増となりました。

なお、歳入全体に占める県支出金の割合は11.73%で、前年度に比較すると1.33ポイント増加しております。

50、51ページ下段をお願いします。16款財産収入は1億3,537万7,046円で、前年度に比較して1億1,331万3,289円、率にして513.57%増加しております。これは、主に2項財産売払収入で町有地売却等により1億1,280万1,516円の増となったことによるものであります。

52、53ページ下段をお願いします。17款寄附金は1,239万7,000円で、前年度に比較して6,347万4,000円、率にして83.66%減少しております。

54、55ページをお願いします。18款繰入金は8,831万7,092円で、前年度に比較して1,392万4,522円、率にして13.62%減少しております。

56、57ページをお願いします。2項基金繰入金、5目役場庁舎建設基金繰入金は、前年度と比べて2,486万4,000円の増、6目ふるさとづくり基金繰入金は前年度と比べて5,316万8,000円の減となりました。なお、基金の状況につきましては、決算書376ページに資料を掲載してございますので、ご参考にしていただきたいと存じます。

19款繰越金は4億296万8,896円で、前年度に比較して2億1,221万5,925円、率にして111.25%増加しております。前年度と比べて一般繰越金が2億4,971万8,925円の増、継続費繰越金が886万4,000円の皆増、繰越明許費繰越金が4,636万7,000円の減となりました。

20款諸収入は6,979万1,298円で、前年度に比較して524万5,693円、率にして8.13%増加しております。これは、主に5項雑入が会計年度任用職員の健康保険料等個人納付金などで489万7,149円増加したことによるものであります。

62、63ページをお願いします。21款町債は3億5,930万円で、前年度に比較して1億2,974万円、率にして26.53%減少しております。なお、歳入全体に占める町債の割合は4.69%で、前年度と比べて1.56ポイント減少しております。

以上、14款国庫支出金から21款町債までの収入済額の概要についてご説明いたしました。ご審議のほどよろしく願いいたします。

○議長（岡山義廣君） それでは、40ページの14款国庫支出金から65ページの21款町債まで質疑を行います。質疑ございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで歳入の質疑を終わります。

次に、歳出に入ります。1款議会費から5款労働費まで会計管理者から説明を求めます。

どうぞ。

○会計管理者（小野早苗君） 続きまして、一般会計の歳出についてご説明申し上げます。

決算書202、203ページをお願いします。歳出予算現額79億4,577万8,000円に対し、支出済額は74億8,710万8,688円で、前年度に比較すると6,987万2,794円、率にして0.94%増加しております。また、翌年度繰越額は、継続費通次繰越4,212万4,000円及び繰越明許費444万6,000円、合計4,657万円で、前年度に比較すると1,320万8,000円の減、不用額は4億1,209万9,312円で、前年度に比較すると9,264万794円の減であります。予算現額に対する執行率は94.23%となり、前年度に比較すると1.3ポイント増加しております。

それでは、支出済額について前年度との比較及びその主な増減内容を申し上げます。70、71ページにお戻り願います。1款議会費は支出済額6,263万5,614円で、前年度に比較して374万7,091円、率にして5.64%減少しております。これは、主に議員報酬及び議員共済費の減によるものであります。

2款総務費は、支出済額8億7,937万6,708円で、前年度に比較して1億956万2,682円、率にして14.23%増加しております。

78、79ページをお願いします。1項総務管理費、5目公用車集中管理費は、支出済額1,577万4,621円で、マイクロバスの購入等により前年度と比べて1,083万9,430円の増となりました。

6目企画費は、支出済額5,792万3,796円で、大学生等への応援支援金1人10万円の給付の実施などにより、前年度と比べて1,045万5,035円の増となりました。

84、85ページをお願いします。12目新庁舎建設費は、支出済額1億1,020万3,341円で、前年度と

比べて6,738万5,055円の増となりました。

86、87ページをお願いします。2項徴税費、2目賦課徴収費は、支出済額5,247万6,557円で、市街地宅地評価法基礎資料更新業務に係る委託料などにより、前年度と比べて2,138万7,355円の増となりました。

88、89ページをお願いします。3項戸籍住民基本台帳費の繰越明許費444万6,000円は、戸籍情報システム改修事業に係るものであります。

94、95ページをお願いします。7項安全安心まちづくり対策費、3目防災諸費は、支出済額1,792万2,656円で、地域防災計画の修正業務や津波ハザードマップ作成業務に係る委託料などにより、前年度と比べて988万240円の増となりました。

96、97ページ下段をお願いします。3款民生費は、支出済額20億9,970万6,235円で、前年度に比較して2億3,043万8,114円、率にして9.89%減少しております。

1項社会福祉費、1目社会福祉総務費は、支出済額2億7,164万5,358円で、次の98、99ページになりますが、18節交付金の介護・福祉・医療事業所燃料費等高騰対策給付金2,073万4,490円や19節扶助費の65歳以上の高齢者のみで構成される住民税非課税世帯に対して燃料の助成券を発行する福祉燃料助成費1,364万4,760円などにより、前年度と比べて2,762万2,610円の増となりました。

100、101ページ下段をお願いします。5目老人福祉センター費は、支出済額356万5,085円で、主に前年度実施の改修工事の終了により、前年度と比べて3,096万1,712円の減となりました。

106、107ページをお願いします。11目住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業費は、令和3年度から4年度にかけて実施した住民税非課税世帯等に対し10万円を給付する事業であります。支出済額3,177万9,780円で、前年度と比べて1億4,635万9,084円の減となりました。

12目電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業費は、住民税非課税世帯等に対し5万円を給付する事業であります。9,546万8,466円の皆増となりました。

108、109ページをお願いします。2項児童福祉費、2目児童保育費は、支出済額4億9,058万2,902円で、前年度と比べて2,293万9,597円の減であります。これは、主に19節扶助費で教育・保育給付費が1,886万4,692円の減、児童手当が971万円の減となったことによるものです。

114、115ページをお願いします。10目子育て世帯への臨時特別給付金事業費は、令和3年度から4年度にかけて実施した18歳までの児童1人当たり10万円を給付する国の事業ですが、支出済額は29万750円で、前年度と比べて1億4,285万5,399円の減となりました。

11目県子育て世帯臨時特別給付金事業費は、18歳までの児童を養育する世帯に対し児童1人当たり2万5,000円を給付する県の事業ですが、3,492万713円の皆増となりました。

116、117ページをお願いします。4款衛生費は、支出済額10億5,398万9,107円で、前年度に比較して28万5,528円、率にして0.03%の減となりました。

1 項保健衛生費、2 目予防費は、支出済額5,405万6,231円で、主に新型コロナウイルスワクチン接種対策に係る国の負担金、補助金の返還金が生じたことにより、941万4,915円の増となりました。

122、123ページをお願いします。6 目新型コロナウイルス感染症対策費は、支出済額7,616万5,418円で、主にワクチン接種業務委託料の減により、前年度と比べて2,089万466円の減となりました。

2 項清掃費、1 目清掃総務費は、支出済額 2 億9,519万4,184円で、主に北部上北広域事務組合への負担金の増により、前年度と比べて1,229万3,140円の増となりました。

126、127ページ下段をお願いします。3 項病院費は、支出済額 3 億9,853万2,243円で、主に北部上北広域事務組合への負担金の減により、前年度と比べて2,698万1,229円の減となりました。

128、129ページをお願いします。4 項上水道費は、支出済額2,964万6,300円で、主に水道料基本料金 3 か月分の減免事業に係る水道事業特別会計への繰出金により、前年度と比べて2,303万1,300円の増となりました。

5 款労働費は、勤労青少年ホームの運営費であります。支出済額800万3,197円で、前年度に比較して549万834円、率にして40.69%減少しております。これは、主に前年度実施の衛生設備改修工事などの終了によるものであります。

以上、1 款議会費から5 款労働費までの支出済額の概要についてご説明申し上げました。ご審議のほどよろしく願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 1 款議会費から5 款労働費まで、款ごとに質疑を行います。

初めに、70、71ページの1 款議会費について質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 1 款議会費の質疑を終わります。

次に、2 款総務費についてですが、ページ数が多いので、2 つに分けて質疑を行います。70ページから85ページまでの1 項総務管理費について質疑ありませんか。

11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 81ページです。企画費の不用額の部分、1,524万2,598円不用額とあります。これがどういった形で要はお金が余ったのか、この理由を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長、どうぞ。

○企画財政課長（秋島祐成君） お答えいたします。

企画費の不用額の大きかった内容でございますが、大きかったものが予算に計上しておりました企業立地促進助成金1,000万円、企業立地雇用助成金1,000万円、こちら執行しないでそのまま不用額となったためというのが大きい要因でございます。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 79ページの企画費のところなのですが、まち・ひと・しごと創生有識者会議の今回394ページにもあるのですけれども、まちづくり総合計画の前期基本計画評価事業、それからまち・ひと・しごと創生総合戦略評価事業、この2つが外部評価を行っていないようなのですけれども、これはあえてしなかったのか、しないのであれば、その理由を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 財政課長、どうぞ。

○企画財政課長（秋島祐成君） 企画費の報酬に決算額が表れていないのはなぜかというご質問かと思いますが、こちら外部評価、実際の集まっての会議を行わないで書面回答いたした関係で報酬が発生しなかったものと考えてございます。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） そうすると、394ページにもある2つの12、13の評価事業なのですけれども、これは外部評価の言葉が書いていないのですけれども、実際は外部評価をされたということでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 財政課長。

○企画財政課長（秋島祐成君） すみません。ただいま手元に資料ございませんので、後ほどお答えさせていただきます。

○議長（岡山義廣君） 5番、五十嵐勝弘君。

○5番（五十嵐勝弘君） 77ページ、財産管理費に関連してお伺いしたいと思います。

修繕料の94万4,602円、この内訳を教えてくださいなのですが。

○議長（岡山義廣君） 課長、どうぞ。

○防災管財課長（西舘峰夫君） お答えいたします。

77ページの修繕料94万円余りですけれども、庁舎関係とコミセン関係などになります。庁舎などが雨漏り関係が32万円ほど、そのほかに環境整備の草刈り機が23万円、そのほかに除雪機等管理している車両の車検などが13万円ぐらい、コミュニティセンター等照明などに関して25万円ぐらいなどで90万円余りとなっております。

○議長（岡山義廣君） 5番、五十嵐勝弘君。

○5番（五十嵐勝弘君） ありがとうございます。公共施設関係の修繕の中で行政メモリアルセンターのことについてお伺いしたいのですが、旧有戸小学校、ここの校舎雨漏りしている、また旧体育館、ガラスが壊れているといった状況をご存じでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 防災管財課長。

○防災管財課長（西舘峰夫君） 旧有戸小学校のほう、雨漏りが若干していることと体育館のほうは一部ガラス等の状況が悪いことは把握しております。

○議長（岡山義廣君） 5番、五十嵐勝弘君。

○5 番（五十嵐勝弘君） それについて修繕等は計画はございませんか。

○議長（岡山義廣君） 防災課長、どうぞ。

○防災管財課長（西舘峰夫君） 現在のところ、なるべく維持費をかけないで維持したいということを考えておりまして、職員がプラボードというか、ガラスではないのですけれども、そういうものを貼ったり、あと雨なんかが抜けるようにちょっとといのようなもので措置したりして管理している状況です。程度がやっぱりひどくなってくれば、お金をかけての修繕も考えたいと思います。

○議長（岡山義廣君） 5 番、五十嵐勝弘君。

○5 番（五十嵐勝弘君） 次、83ページです。電子計算機管理費の備品購入費についてお伺いします。遠隔バックアップ用機器ということで143万円の支出しておりますが、遠隔用N A Sの購入ということで後ろの主要な施策のところで見させていただきましたが、これの利用方法というか、どういうふうなものに使うのか教えていただければありがたいのですが。

○議長（岡山義廣君） 防災管財課長。

○防災管財課長（西舘峰夫君） お答えいたします。

N A Sなどの機器を購入しておりまして、遠隔のバックアップをするときにそれを接続して、安全な場所に保管してあるものをこれでつなげて取り出せるようにするための接続に使う機械だと聞いております。

○議長（岡山義廣君） ほかにございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 次に、84ページの2項徴税費から97ページの7項安全安心まちづくり対策費まで質疑はありませんか。

5 番、五十嵐勝弘君。

○5 番（五十嵐勝弘君） 97ページ、防災諸費に関連してお伺いいたします。

負担金のところで防災士養成事業2万円とありますが、1名分ということで、これは町民の方でしょうか。

○議長（岡山義廣君） 管財課長。

○防災管財課長（西舘峰夫君） お答えいたします。

新規に結成された駅前自主防災組織の町民の方の資格取得のためです。

○議長（岡山義廣君） 5 番、五十嵐勝弘君。

○5 番（五十嵐勝弘君） ありがとうございます。昨年1名しか防災士の資格取らなかったということなのですが、一応防災士の補助は自主防災組織の構成員でないと要件を満たさないというふうなことになっているかと思いますが、野辺地町は1万2,000人いるのに、このように年間に1名しか防災士が誕生していないという状況について町長はどのようにお考えですか。

○議長（岡山義廣君） 町長、答弁。

○町長（野村秀雄君） お答えいたします。

もちろん多くの方に防災士取っていただきたいというのはもちろんでございますけれども、なかなか募集しても来ないということもあるし、あとは各自治会の方々に例えば講習とかやっていたいて、それでぜひ多く入っていただくようにしていただければいいなと思っておりますが、ただなかなか増えないのも事実でございます。ただ、これから災害がかなり大規模化、突然災害が起きるとい時代でございますので、ぜひ防災士の養成については力を入れていきたいと思っております。

○議長（岡山義廣君） 5番、五十嵐勝弘君。

○5番（五十嵐勝弘君） ぜひとも自主防災組織の構成員でなくても、町民の方で取りたいと言っている方の声も聞こえておりますので、そこら辺を広げるようなことをしていただければなと思っておりますので、要望です。よろしくお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） ほかにございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで2款総務費の質疑を終わります。

次に、96ページから117ページまでの3款民生費について質疑ありませんか。何もございませんか。

11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 105ページ、それから107、111ページで、それぞれ不用額の部分をちょっと注目して見ているのですが、扶助費の不用額が1,500万円余り、それから107ページの電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業費の不用額が1,700万円余り、それから児童保育費の扶助費の不用額が1,900万円と、かなり給付金事業の不用額が多く見られるのですけれども、これはしっかりと給付されて、事業が滞りなく実施されて、なおかつこの金額の不用額が発生したという解釈でよろしいのでしょうか。その辺説明をお願いします。

○議長（岡山義廣君） 福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） お答えいたします。

まず、私のほうからは、104ページ、105ページのほうの障害福祉対策費の不用額につきましては主要な施策の436ページにもあるのですけれども、件数そのものがやはりその年度で使用される方が新規に増えたり、あとお亡くなりになる等で金額にかなりの動きが出るということになりますが、全ての必要な方にはきちんと周知がされて利用していただいております。

あと、次のページに参りまして、106ページ、107ページの12目の電力・ガス・食料品等価格高騰給付金の関連につきましては、こちらは5万円の給付のほうですけれども、2,000人程度のこちらで見込んだ人数に対してほぼ100%の給付でされておりますので、必要な方にはきちんと給付ができ

ております。

○議長（岡山義廣君） 健康づくり課長、どうぞ。

○健康づくり課長（木明 修君） 健康づくり課からは、111ページの扶助費、教育・保育給付費と児童手当に関してお答えいたします。

想定よりも保育所に入る方の人数が少なかった、それから同じく想定よりも児童手当受給される方の人数が少なかったということで不用額が生じておりまして、適正に給付はなされておりますので、お知らせいたします。

○議長（岡山義廣君） 4番、村中玲子君。

○4番（村中玲子君） 108ページ、109ページになるのかどうか分からないのですけれども、昨日幼稚園に通っているお母さんから聞いたのですけれども、野辺地保育園ではエアコンついているのだけれども、カトリックに通っている子供のお母さんなののですけれども、カトリック幼稚園にはエアコンがなくて、「今年はとても暑かった」と言っていましたので、エアコンをカトリック幼稚園にもつけてもらいたいなと思っておりました。あと、ほかのところはちょっと分からないのですけれども、エアコンついているところがどこなのか教えてください。

○議長（岡山義廣君） 担当課長は誰かな。

健康づくり課長。

○健康づくり課長（木明 修君） お答えいたします。

幼稚園とかに設置するエアコンについての補助は今のところないのですけれども、あとどこの園にエアコンがついているかついていないかはちょっと全て把握し切れていないので、調べまして後ほどの回答にしたいと思います。

○議長（岡山義廣君） 9番、野坂 充君。

○9番（野坂 充君） どこの款項目という、何ページということもないのですけれども、すごくシステム改修費というの目につくのですが、これは全部合わせれば、すごい金額になると思うのですけれども、これは何とかならないものでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 防災管財課長。

○防災管財課長（西舘峰夫君） お答えいたします。

一応電子計算機管理などを管財でやっているという意味で防災管財課で総括してお話ししますが、役場でやっぱりたくさんのシステムを持っています。それで、税なんか、あるいは決算統計が今回決算では出ていましたけれども、そういったものはやっぱり調査方法が変わったり税の制度が変わると、導入済みのシステムに変更が出てきますので、やっぱり確実に納税者の方が税金間違っって計算されないように対応するなどにはシステム改修が必要で、それらがぼつぼつ載っています。

そのほかのコロナ関係の給付金、その他電気料高騰などに関して、やっぱり対象者を前使った名簿を使って、似たようなものなのだけれども、今回のフレームが違うとか対象者が違うものを確実に把握するためにも、やっぱり新規に買うよりはシステム改修して対応したほうが早いなどがあって改修します。そういったものの必要な都度、都度行うものですので、ちょっとそれぞれ積み上げると今幾らかというのは不確かなものがありますので、ここでお答えできませんけれども、多くなっていったらご指摘のとおりかと思います。ただ、全て新規に買うよりは、今あるものを少し直したほうが安いと思うので、一応効率的に考えて執行はしていると思います。

○議長（岡山義廣君） 9番、野坂 充君。

○9番（野坂 充君） このシステム改修だけずっと拾っていても1,000万円以上かかっていると思うのですけれども、これは町長、どうでしょう、システムエンジニア採用して、町でそういう専門の部署を設ける気はありませんか。

○議長（岡山義廣君） 町長。

○町長（野村秀雄君） お答えします。

多分1人では間に合わないということだと思うので、複数人採用して、多分物すごい給料だと思うのですけれども、その人が今年はいっぱいあるのだけれども、次の年に何も無いというときもあるかと思うのです。そういう人に何千万円という給料が多分払われると思うのですけれども、果たしてそれが効率的かどうかについては少し私は疑問がありますので、これまでのとおり少しずつ直しながら使っていきたいなと思っております。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで3款民生費の質疑を終わります。

次に、116ページから129ページまでの4款衛生費について質疑ありませんか。

11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） しつこく不用額のことで済みません。123ページ、新型コロナウイルス感染症対策費の委託料、これが1,730万円余り不用となっておりますが、これはコロナワクチン接種業務に関するものなのか、コールセンター運営業務に関するものなのか、大きい金額なので、この辺どこが不用になったのか教えてください。

○議長（岡山義廣君） 健康づくり課長。

○健康づくり課長（木明 修君） 委託料の不用額ですけれども、これは新型コロナウイルスワクチン接種業務の部分でありまして、想定よりも接種者が少なかったためであります。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 想定よりも接種者が少なかったということでありまして、要は接種

する人が減った要因というのはどういうことが考えられるか、調査等してありますか。

○議長（岡山義廣君） はい、課長。

○健康づくり課長（木明 修君） まず、予算を計上するときは、対象者全員が接種するものとして予算計上しております。それで、接種率が想定よりも少なかった原因ですけれども、想定になりますが、予防接種すれば副反応する方もいますし、またこの接種はなるべく接種するようにお願いしておりますが、強制ではないので、そういったこともあって接種者が少なかったものと想定されます。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 129ページです。また不用額についてですが、病院費、これの不用額が2,470万円余り出ております。この説明をお願いします。

○議長（岡山義廣君） 財政課長。

○企画財政課長（秋島祐成君） 病院費の不用額でございますが、北部上北広域事務組合の負担金の一部不用となったもので、その要因は病院の負担金が北部上北広域事務組合側の補正で減額になったのですけれども、その時期が町の3月議会以降でありまして、町のほうでは減額補正できなかったもので、そのまま歳出としては不用額になりました。中身としては、寄附講座を予定していた予算が寄附講座実施しなくなったのと、あと建設改良費が1,200万円ほど減になったということです。

○議長（岡山義廣君） ほかにございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで4款衛生費の質疑を終わります。

次に、128、129ページの5款労働費について質疑ございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで5款労働費の質疑を終わります。

健康維持のため45分まで休憩します。

休憩（午前10時33分）

再開（午前10時44分）

○議長（岡山義廣君） 再開します。

6款に入る前に、2款の総務費について企画課長のほうから訂正があるということですから、課長、どうぞ。

○企画財政課長（秋島祐成君） 先ほど2款1項6目企画費の中の不用額の内容についてご答弁いたしました、内容に誤りがありますということで訂正させていただきます。申し訳ございませんでした。

不用額の中で一番大きかったのは大学生等応援事業、こちらが540万円予算計上したものの、交付されないで不用額になったものが最大の額でございます。そのほかに空き家バンク利活用促進事業助成金とか若者定住・促進住宅助成金なども200万円程度ずつ不用額となっております。それから、大きいのでは地域おこし協力隊の起業支援事業補助金200万円、こちらも不用額となりました。これらが主なものでございます。

大変失礼いたしました。

○議長（岡山義廣君） 何も聞こえない。戸を閉めましょうか。戸を閉めてください。

今ちょっと工事中の騒音で最後のほうが聞き取れませんでしたので、もう一回答弁。

○企画財政課長（秋島祐成君） 申し訳ございません。不用額の大きいものでございますが、大学生等応援事業、大学生に10万円の交付金が不用額が540万円、それから移住関連の補助金が予算は用意しておりましたが、200万円ほど不用額になりました。あと、地域おこし協力隊の起業支援事業、これも予算は用意しておりましたが、200万円不用額となりました。

以上でございます。

○議長（岡山義廣君） それでは、6款農林水産業費から14款予備費まで、会計管理者から説明を求めます。

はい、どうぞ。

○会計管理者（小野早苗君） 引き続き歳出についてご説明申し上げます。

決算書128、129ページ下段をお願いします。6款農林水産業費は、支出済額1億6,467万2,253円で、前年度に比較して1,137万7,101円、率にして7.42%増加しております。これは132、133ページになりますが、主に3目農業振興費、18節交付金の農林畜水産業燃料費等高騰対策事業1,009万円などによるものです。

138、139ページ下段をお願いします。3項水産業費、2目漁港・漁場整備費の通次繰越4,212万4,000円は、野辺地漁港荷さばき施設改築事業に係るものであります。

140、141ページをお願いします。7款商工費は、支出済額2億9,725万6,742円で、前年度に比較して1億3,291万1,557円、率にして80.87%増加いたしました。

1項商工費、1目商工総務費は、支出済額2億2,008万4,553円で、前年度と比べて1億2,824万8,981円の増であります。これは、主にプレミアム率50%のプレミアム商品券発行事業3,885万9,482円や町民1人当たり1万円分の地域振興券発行事業1億3,052万4,375円などの実施によるものであります。

148、149ページ下段をお願いします。8款土木費は、支出済額3億7,201万6,664円で、前年度に比較すると1億265万3,927円、率にして21.63%の減であります。

150、151ページをお願いします。2項道路橋りょう費は、支出済額2億1,838万7,966円で、前年

度と比べて1,818万6,642円の減となりました。1 目道路橋りょう総務費及び2 目道路新設改良費が前年度と比べて増となった一方、3 目除雪対策費が前年度と比べて2,570万8,230円の減となったことが主な要因であります。

154、155ページをお願いします。3 項河川費は、支出済額243万6,986円で、前年度実施の改修工事の終了などにより、前年度と比べて6,023万2,481円の減となりました。

158、159ページ下段をお願いします。9 款消防費は、支出済額4 億9,422万6,325円で、前年度に比較すると4,103万7,423円、率にして7.67%減少しております。

1 項消防費、1 目常備消防費は、北部上北広域事務組合への負担金であります。前年度と比べて1,742万7,000円の減、2 目非常備消防費は主に前年度に実施した消防車両の購入完了により、前年度と比べて2,361万423円の減となりました。

160、161ページ下段をお願いします。10款教育費は、支出済額6 億1,707万3,326円で、前年度に比較すると6,351万6,613円、率にして9.33%減少しております。

170、171ページ下段をお願いします。2 項小学校費、5 目学校施設費は、支出済額2,171万1,936円で、前年度と比べて3,709万5,846円の減となりました。これは、主に前年度に実施したエアコン機器等設置工事費の減によるものであります。

176、177ページをお願いします。3 項中学校費、3 目学校施設費は、支出済額1,592万4,889円で、前年度と比べて6,560万3,771円の減となりました。これは小学校費と同様、主に前年度に実施したエアコン機器等設置工事費の減によるものであります。

180、181ページ下段をお願いします。4 項社会教育費、4 目中央公民館費は、支出済額3,436万1,732円で、前年度と比べて1,604万9,677円の減となりました。これは、主に前年度に実施した非常用電源設置工事費などの減によるものであります。

192、193ページをお願いします。5 項保健体育費、5 目サンビレッジのへじ費は、支出済額4,766万7,472円で、前年度と比べて2,138万9,159円の増となりました。これは、主に内部塗装等改修工事及び屋根シーリング補修工事の実施によるものであります。

196、197ページをお願いします。11款災害復旧費は、支出済額117万7,000円で、明前川護岸災害復旧工事を実施し、前年度に比較して26万4,000円、率にして28.92%の増となりました。

12款公債費は、支出済額7 億5,207万6,309円で、前年度に比較して2,486万7,010円、率にして3.42%増加しております。

1 項1 目元金は、長期債約定償還元金7 億3,785万8 円で、前年度と比べて2,815万9,984円、率にして3.97%の増となりました。

2 目利子は、一時借入金利子を除いた長期債約定償還利子が1,422万5,200円で、前年度と比べて317万4,141円、率にして18.24%の減となりました。

13款諸支出金は、支出済額 6 億8,489万9,208円で、前年度に比較して 2 億3,805万9,974円、率にして53.28%増加しております。これは、主に次の198、199ページになりますが、前年度と比べて財政調整基金費で 1 億4,280万円の増、公共施設整備基金費で 3 億円の増となったことによるものであります。

200、201ページをお願いします。14款予備費は、他の科目への充用が45件、1,447万7,000円措置されました。前年度に比較すると、件数では 9 件の減、金額では186万8,000円の増となりました。

以上、6 款農林水産業費から14款予備費までの支出済額の概要についてご説明申し上げました。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） それでは、6 款農林水産業費から14款予備費まで、款ごとに質疑を行います。

128ページから141ページまでの 6 款農林水産業費について質疑ありませんか。

5 番、五十嵐勝弘君。

○5 番（五十嵐勝弘君） 132、133ページ下段の農業経営安定推進事業費、当初20万2,000円の予算を計上しておりましたが、支出がないということで、この事業を行わなかったのはコロナ等の影響なのか、その辺をお知らせください。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（長根一彦君） お答えいたします。

農業経営安定推進事業費ですけれども、人・農地プランの計画を事業を推進するための予算計上しておりましたが、今年度から 2 か年かけて地域計画という計画に変更、国が制度改正しました。それに伴って、当初計上していた委員の報償費とか関係する予算の支出がなかったということになります。

以上です。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 6 款農林水産業費の質疑を終わります。

次に、140ページから149ページまでの 7 款商工費について質疑ありませんか。

11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 141ページです。また不用額のことについてですが、商工総務費の18節負担金、補助金及び交付金の部分、2,730万円余りが不用額となっておりますが、この内訳を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 長根課長、どうぞ。

○産業振興課長（長根一彦君） お答えいたします。

商工費の不用額の件ですけれども、具体的にはコロナ交付金であった事業に関わる残額が多くなっております。特に143ページの事業者支援につきましては、2,400万円の予算に対して残が1,700万円ほど出ているということなど、主な要因はコロナ交付金の事業の残となります。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） その負担金、補助金及び交付金の部分で、プレミアム商品券発行事業3,880万円余りでありましたけれども、プレミアム商品券事業、これについて商品券を完売したのかどうか、ちょっと記憶が定かではないのですけれども、こういった効果が見られたのか、しっかりとその辺検証したのかどうか教えてください。

○議長（岡山義廣君） 長根課長、どうぞ。

○産業振興課長（長根一彦君） プレミアム商品券、50%のプレミアム率の話でよろしいでしょうか。これは完売いたしました。10日くらい前に完売しております。

効果検証ですけれども、商工会のほうの担当者と話したのですけれども、やはり購買意欲とかそういう面ではあったということで聞いております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 144ページです。スキー場費に関連してお伺いします。

スキー場の復旧が期待される場所ですが、その後調査等の経過はどうなったか教えてもらってよろしいですか。

○議長（岡山義廣君） 今決算について質疑を取っておりますので、スキー場の今の状況についての説明はちょっと遠慮してもらいたい。

5番、五十嵐勝弘君。

○5番（五十嵐勝弘君） 143ページ、観光費の委託料のカワラケツメイ商品開発業務についてお伺いいたします。

以前にカワラケツメイにフラボノイドの成分があるということで、それを商品に生かす形の事業を展開してきたと思うのですが、フラボノイドを活用した商品は今のところ出来上がっているのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 長根課長、どうぞ。

○産業振興課長（長根一彦君） お答えします。

フラボノイドを活用するために、今までよりもカワラケツメイ細かくすることを試みました。そして、細かく粉末状にしたものをクッキーやらホタテのコロッケもやっているのですけれども、そちらのほうに入れて食べるという形のほうで商品を進めております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 5 番、五十嵐勝弘君。

○5 番（五十嵐勝弘君） 同じページの委託料、縄文くらら商品試作業務とあります。試作は、どのようなものを試作したかお伺いしたいです。

○議長（岡山義廣君） 長根課長、どうぞ。

○産業振興課長（長根一彦君） お答えします。

クッキーを大小の型を作りまして、商品化のほうに向けて試作をしたところであります。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 6 番、戸澤 栄君。

○6 番（戸澤 栄君） 祇園まつりについて伺います。

祇園まつり野辺地からなくしたくないという思いでずっと頑張ってきているのですが、もう限界来ているのですよね、町長もお分かりだと思えるのですけれども。今後山車を出している町内会だけに依存して今のまま続けるのか、または先々何か考えておられるのか。代案があったら、方向性を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 町長、答弁。

○町長（野村秀雄君） お答え申し上げます。

もう数年来、これはとても難しい問題だと私も思っております。去年から今年にかけても、例えばもう今年は山車が出せないというところが2か所ありました。そういうことがありますので、かつての一つの案ではあるのですが、運動会をやっていたときのよう、町民運動会のときのような組合せで町内3か所ぐらいの組合せ、例えば新・新・八とありましたね、そんなのとかので、2つ、3つの自治会で一つの山を出せないかというアイデアを少し出したのですが、なかなかそれぞれの自治会のまずは理解が得られていないということもあって、これからその視点に沿って少しやっていければ、相談させていただければいいなと思っております。

○議長（岡山義廣君） 5 番、五十嵐勝弘君。

○5 番（五十嵐勝弘君） 147ページ、愛宕公園費に関連して質問したいと思います。

愛宕公園8月にイルミネーション事業、大々的に祭りの最終日まで開催いたしました。その際に出店が非常に少なかったと、点灯式のときに私も観光協会の事務局長さんとお話をしまして、「あと事業者さんどのぐらい来るの」といったお話をしたら、「募集しても来なかった」と言ったのです。募集だけではなくて、やはりこちらからお願いをしてでも、そういうにぎやかにするような業者さん呼び込むという考えはなかったのかどうか、ちょっとお伺いいたします。

○議長（岡山義廣君） 五十嵐君に申し上げますけれども、決算の話に変えて質問していただけないか。

5 番、五十嵐勝弘君。

○5 番（五十嵐勝弘君） それでは、質問を変えます。

愛宕公園費の修繕料に関連してお伺いいたします。今年イルミネーション事業をやったときに、町民の方から頂上のベンチとか公園内のベンチが非常に傷んでいるというお話がありましたが、その辺課長ご存じですか。

○議長（岡山義廣君） 長根課長。

○産業振興課長（長根一彦君） お答えします。

それは確認しておりまして、次年度の予算のほうで、今現在木製の防腐タイプのほうでいろいろ調査して、腐りにくいというのですか、壊れにくいものを設置のほうで検討しております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 5 番、五十嵐勝弘君。

○5 番（五十嵐勝弘君） 町長が継続できるイベントということでイルミネーション事業を考えているということを6月の一般質問での回答をいただいておりますので、ぜひともその辺を十分考慮に入れていただいて、早めの修繕をよろしくお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） ほかにございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 7 款商工費の質疑を終わります。

次に、148ページから159ページまでの8 款土木費について質疑ありませんか。

9 番、野坂 充君。

○9 番（野坂 充君） 159ページ、急傾斜地の事業なのですけれども、400万円で今年の予算が100万円しか取っていないのですが、この400万円と100万円というのはどこか終わったのですよね。終わったから今年100万円しかついていないということなのだと思うのですけれども、終わった急傾斜地の場所と、今年100万円の予算取っているの残っている急傾斜地の場所を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 建設水道課長、どうぞ。

○建設水道課長（瀧澤 誠君） ただいまの質問にお答えします。

馬門地区、稲荷神社ですか、その付近の急傾斜地の工事につきましては、令和3年度で終了したということになります。令和4年度予算化している400万円の支出があった部分につきましては、切明地区のゆったりハウスですか、グループホーム、介護施設ございますけれども、その後ろのほうの急傾斜地の事業を継続して実施しております。

○議長（岡山義廣君） 9 番、野坂 充君。

○9 番（野坂 充君） 令和4年度で終わったところがどこか。残っているのが今切明が今年まだやっているということね。それなら、4 年度で終わったところ。

○議長（岡山義廣君） 建設水道課長。

○建設水道課長（瀧澤 誠君） 失礼いたしました。4年度で終わった場所はございません。引き続き切明地区の工事を実施しているということで、今後も引き続き事業化していきたいと思います。

○議長（岡山義廣君） 9番、野坂 充君。

○9番（野坂 充君） すみません。今のやつは、馬門は令和3年度で終わったと、それなら令和4年度は、400万円は同じ切明地区に負担金で、まだそれが令和5年度も残っているから100万円予算化したということでいいのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 建設水道課長。

○建設水道課長（瀧澤 誠君） 令和4年度につきましては、まず切明地区を実施いたしました。今後も今1か所は、その切明地区が残っておりますので、負担金として県のほうに支出することになりますけれども、引き続き継続していきたいと思います。

○議長（岡山義廣君） 質疑ありませんか。そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 8款土木費の質疑を終わります。

次に、158ページから161ページまでの9款消防費について質疑ありませんか。

11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 昨日消防署でイベントがありまして、様々救急車なり消防車なりいろんな設備を見てきました。その中で化学車だったりとかというかなり古い車両がありまして、話を聞いたところ六ヶ所消防署が以前使っていたものを現在使っているということで、二、三台かなり古い車両があったように見受けられました。これの更新の計画はされておりますか。

○議長（岡山義廣君） 管財課長。

○防災管財課長（西舘峰夫君） お答えいたします。

今化学車が前に六ヶ所村で使っていたものを譲られた古いものがあるというお話がありました。同じように化学車と工作車も多分お目にかかったのか分からないのですが、そちらが結構古いものになっていて、六ヶ所村の広い通りを走れるように大きいものが今あります。こちらについて2年後くらいに、そのサイズで町内の細々した路地を走れるかということを含めて、化学車の機能を2台に分けるとか、2つの車が行けば、その機能を発揮できるようなものなどにするためにどうやって買うか、今車の納期が遅い中でどういう予算にするかというのを検討して、来年くらいの実施計画で財政のほう、当局と相談することになっています。

○議長（岡山義廣君） 8番、中谷謙一君。

○8番（中谷謙一君） 14節工事請負費の消火栓新設工事、何本新設したかと、それから既存の消火栓の整備点検とかは定期的にされているのかどうか伺います。

○議長（岡山義廣君） 管財課長、どうぞ。

○防災管財課長（西舘峰夫君） お答えいたします。

一応決算書の407ページのほうに載っておりますけれども、4年度に関しては、枇杷野地区については消火栓1基を新設という形でやっております。こちらの分が多分決算にある110万7,700円ですね、こちらになるかと思います。

また、整備したところ消防署と協力して点検はしてまして、あるいは水道管の工事を建設水道課で進めたときに異常があったものなどの報告を受けて、何かあれば、すぐにこつこつ対処をしています。

○議長（岡山義廣君） 8番、中谷謙一君。

○8番（中谷謙一君） 整備に関してちょっと気になっていたのが体育館の前の消火栓なのです。特に2年ぐらいになるのですけれども、蓋のぼちが折れてしまって、ないのです。普通は工具使って開けるのですけれども、あれは手で回すと蓋が取れるようなそういう状態になっているので、ちょっといたずらされたりということも考えられるとうまくないので、蓋を早めに交換したほうがいいのではないかなと思うのですが、ちょっと点検していただければと思います。

○議長（岡山義廣君） 要望ですね。要望でよろしいですね。

○8番（中谷謙一君） 要望です。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 9款消防費の質疑を終わります。

10款教育費はページ数が多いので、2つに分けて質疑を行います。160ページの1項教育総務費から177ページの3項中学校費まで質疑はありませんか。

4番、村中玲子君。

○4番（村中玲子君） 173ページの若葉小学校エアコン機器等追加設置工事とありましたが、8月に図書室を見学に行ったときに若葉小学校にはエアコンついていたのですけれども、野辺地小学校には図書室にはエアコンついていませんでしたので、来年つけてもらうことはできるでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 教育課長、どうぞ。

○学校教育課長（富吉卓弥君） 野辺地小学校の図書館のほうにエアコンが設置されていないということで、ちょっと校長先生とか学校運営のほうと相談してみて、必要性のことをちょっと考えて検討してみたいと思います。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 次に、176ページの4項社会教育費から197ページの5項保健体育費まで質疑ありませんか。

11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 183ページです。中央公民館費の工事請負費から備品購入費に600万円ほど流用されておりますけれども、これは当初工事の予定だったものを備品購入に変更したという解釈でよろしいですか。

○議長（岡山義廣君） 五十嵐君、どうぞ。

○社会教育・スポーツ課長（五十嵐洋介君） 質問にお答えします。

当初綴帳の工事を予定していましたが、備品のほうに取扱いを変えということで流用して実施しております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 192ページです。サンビレッジのへじ費についてお伺いします。

経常収支比率改善プロジェクトチームの施策の中で、サンビレッジのへじを週1回の休館日から週2回に増やしたということを認識しておりますけれども、これについてどういった効果が現れたのか、また休日が増えたことによる苦情等がないのか、そしてこのやり方を続けるのかどうかを教えてください。

○議長（岡山義廣君） どうぞ。

○社会教育・スポーツ課長（五十嵐洋介君） ご質問にお答えします。

まず、サンビレッジについて休館日を増やしたということで、特に利用客からの苦情というのは耳にはしていません。

あと、効果についてなのですが、4年度について工事の期間がありまして、まず5か月、約半年近くですので、効果というのはちょっと計算できないのかなと思います。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） もう一つ質問していたのですが、この対策は続けるのかどうか、今後。

○議長（岡山義廣君） どうぞ。

○社会教育・スポーツ課長（五十嵐洋介君） 失礼しました。対策は継続して行うこととしております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで10款教育費の質疑を終わります。

次に、196、197ページの11款災害復旧費について質疑ありませんか。ございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで11款災害復旧費の質疑を終わります。

次に、196ページから197ページまでの12款公債費について質疑ありませんか。

11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 公債費に関連して、決算全体のことになるかと思うのですが、決算書の後ろのほうに資料として403ページです。403ページに恐らく財政課が今回の決算を見ての評価というか意見が書かれてあります。経常収支比率は公債費抑制のため云々というところを書かれておりますし、また決算書と一緒に別冊で配付された監査委員の方からの意見書にも同様の内容が記載されております。これについて分かりやすく説明をいただきたいのです。

要するに経常収支比率が悪化したという要因、簡単には説明はあるのですが、こういったことによって悪化した、これをどのように今後対策していかなければならないのかというところを説明いただきたいのです。というのは、やはり今後財源不足の状態が続くことが予想されるということとても恐ろしい言葉が書かれてあるものですから、この辺も公債費を含めての説明お願いできないでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣君にお伺いしますけれども、経常収支比率が悪化した根拠ということですか。その根拠を示して、これからのことについてもお伺いするということですか。

財政課長、どうぞ。

○企画財政課長（秋島祐成君） お答えいたします。

経常収支比率が上昇した要因でございますが、これは経常収支比率を算定するに当たって、分母となる経常収入、経常一般財源等収入の分と、あと分子となる経常的歳出に充当した一般財源等の額、この両面の要因がございます。まず、分母のほうなのですが、非常に大きい要因が普通交付税及び臨時財政対策債、これが3年度と比べて減少いたしました。両方合わせた額で1億6,400万円ほどの減となっております。それから、町税も1,800万円ほど減少して、トータルで1億9,400万円ほど分母のほう減少いたしました。これが影響度として最も大きい要因でございます。6割から7割方こちらが要因となっております。

それから、分子のほう、歳出に充当した経常一般財源等でございますが、これはトータルで9,600万円ほど増となっております。この影響でも残り3割ほどの要因になっているかと思えます。内訳といたしましては、公債費の増が5,000万円余り、それから光熱水費とか燃料費の増額による物件費の増、これも2,200万円余りございます。それから、一部事務組合への負担金も2,000万円ほど増に

なっておりますが、この内訳もやはり燃料費等の増が影響しているものと考えてございます。あと、人件費も1,000万円ほど増となっておりますが、これは会計年度任用職員に対しての期末手当の支給範囲が広がったということで、そちらの処遇改善の影響、これらもろもろの影響でトータルでは6.5ポイント増となりました。このうち分母のほうに関しましては、令和3年度が特別多かったということもございますので、分母のほうは今後もこのぐらいの額が基準になるのかなと、平常モードになりつつあるのかなと見てございます。あと、分子のほう、歳出のほうは公債費の増というのは一応4年度までで落ち着いた感じになってございますので、その他経常経費削減はこれからも続けていきたいと考えてございます。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで12款公債費の質疑を終わります。

次に、196ページから201ページまでの13款諸支出金について質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで13款諸支出金の質疑を終わります。

最後に、200ページから201ページまでの14款予備費について質疑ありませんか。質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで歳出の質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 討論なしと認めます。

これから議案第46号を採決します。

お諮りいたします。本案は原案のとおり認定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第46号については認定することに決定しました。

◎散会の宣告

○議長（岡山義廣君） 以上で本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれで散会します。

（午前11時30分）

